

令和7年度活動実績報告 及び令和8年度活動計画

広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会 事務局
(広島県 商工労働局 環境・エネルギー産業課)

CONTENTS

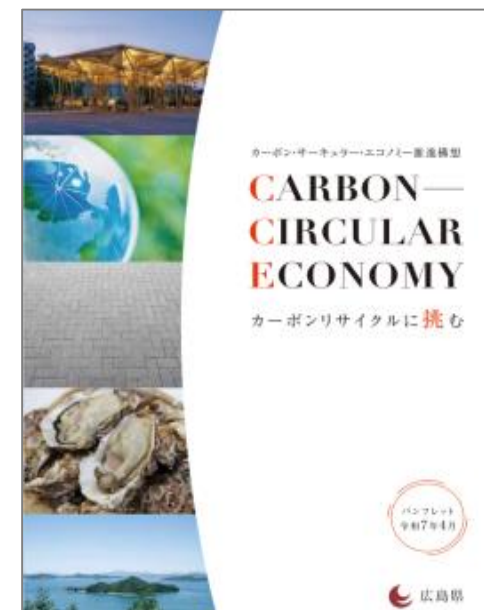
01 令和7年度活動実績

02 令和8年度活動計画

カーボンリサイクルの「拠点化」「新産業の集積」を目指すため、具体的な取組を示した『広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想』（第二版、令和7年施行）を策定。

推進構想の策定

<p>■令和4年2月</p>	<p>広島県の強みを活かし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓カーボンリサイクルの拠点化 ✓新産業の集積 <p>を目指すため、全国に先駆けて具体的な取組を示した『広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想』を策定</p>
<p>■令和6年度</p>	<p>関係者の意見等を踏まえた改定作業を実施</p>
<p>■令和7年度～9年度</p>	<p>推進構想(第二版)に基づく施策を推進中</p>



✓ 目標

<p>2030年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CR関連のスタートアップ企業が広島で育ち、集まっている。 ・県内企業によるCRに寄与する製品やサービス等の開発、事業化の取組が活発になっている。 ・革新技术やコスト低減のブレークスルーに向けた研究が継続され、一部が社会実装されている。
<p>2050年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CRに係る事業が県産業の柱の一つとなっており、世界のカーボンニュートラルに貢献している。

推進構想（第二版）の内容

『広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想』（第二版、令和7年施行）に基づき、協議会や補助金、社会実装支援などの施策を推進中。

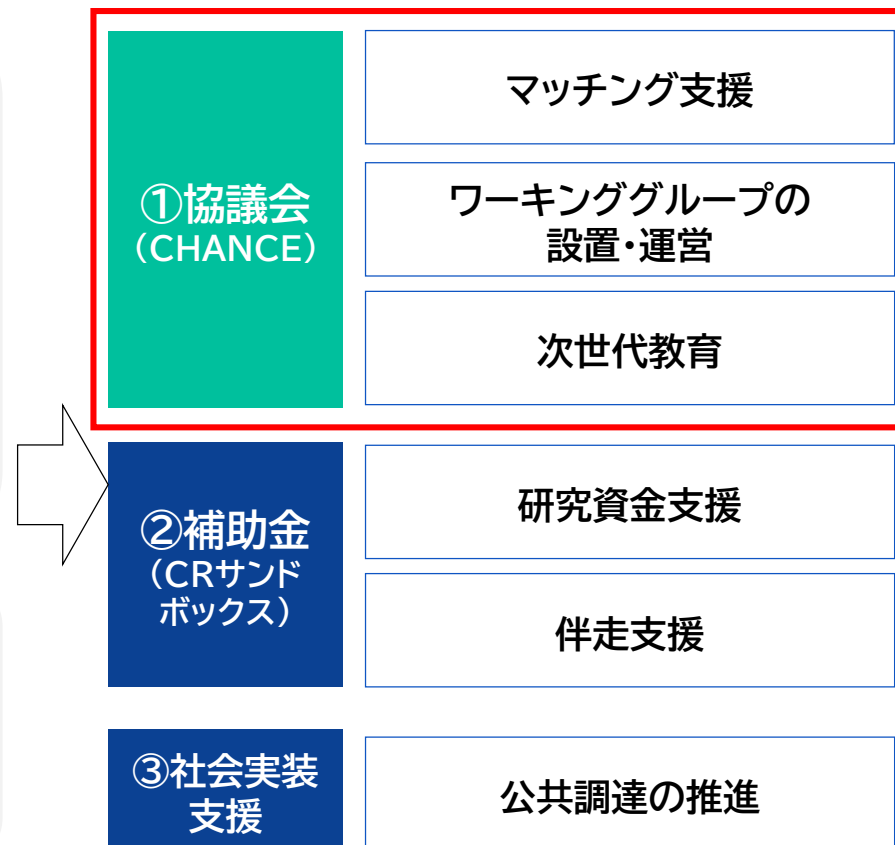
✓ 推進構想（第二版）に基づく方針と具体的取組内容

【方針1 カーボンリサイクルの拠点化】

1. 研究開発支援(CRサンドボックス)の充実
2. スタートアップ企業の創出・育成・誘致の強化
3. CHANCEを通じた企業間等のマッチングによる研究・事業化の促進
4. 大崎上島カーボンリサイクル拠点との連携
5. ビジネスへの需要拡大支援
6. 大規模な資金投入につながる環境整備
7. 県内研究事例や企業の取組の情報発信

【方針2 新産業の集積】

1. 各種マッチング機会の拡充
2. CR技術に必要なCO2フリー水素の調達に向けた対応
3. 若手研究者の育成と次世代教育

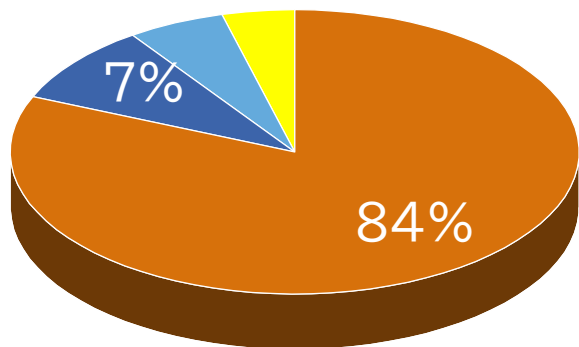


カーボンリサイクルの先駆的な研究拠点化と技術の社会実装への取組推進を通じて、カーボン・サーキュラー・エコノミー^(※)の実現を目指す「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」を令和3年に設立。

✓ 広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会 会員**193者**(令和8.4月末時点) (令和6年度末対比**+29者**)

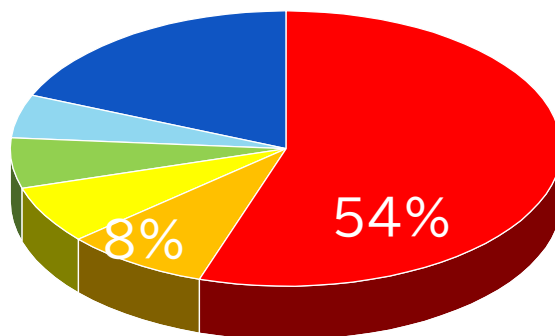
- ・カーボンリサイクル等に関心のある企業、産業支援機関、行政機関など(法人会員)
- ・大学・試験研究機関に所属する研究者など(個人会員)

会員属性



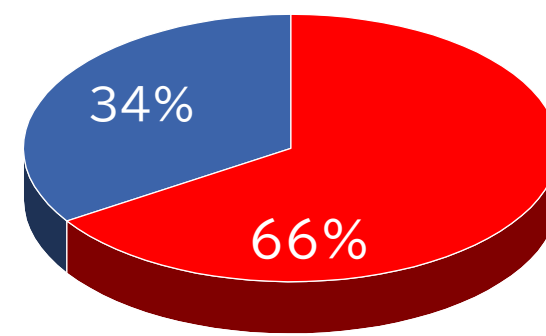
- 企業
- 産業支援機関
- 行政機関
- 大学・試験研究機関に所属する研究者

企業会員の業種



- 製造
- 建設
- 金融・保険
- 商社
- エネルギー
- その他

会員の拠点



- 県内拠点
- 県外拠点

※CO2を資源と捉え、CO2が生物や化学品、燃料等、様々なかたちに変化しながら、自然界や産業活動の中で、大気中のCO2を増加させることなく、持続的に循環する社会経済のこと。

令和7年度の主な取組

令和7年度は、①マッチング支援、②実証等の新規プロジェクト創出を目指すワーキンググループの設置、③県内高校生等を対象とした次世代教育 を3つの柱として実施。

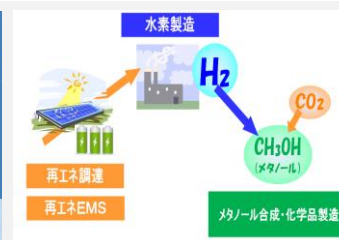
①マッチング支援

会員間の交流を促すイベントの実施やメルマガを通じた最新情報の提供を実施。



②ワーキンググループの設置・運営

カーボンリサイクルに資する共同研究や実証プロジェクト等の立ち上げに向けて、テーマ毎の具体的な議論を実施。



③次世代教育

環境エネルギー分野における次世代を担う現役高校生らを対象とした、カーボンリサイクルを楽しく学ぶ特別授業やイベントを実施。



①マッチング支援

マッチング交流会では、カーボンリサイクルや関連技術について計20テーマを発表する機会を提供。今後もテーマ設定を充実させ、広く情報発信を行っていく。

✓ イベント開催成果(令和7年度)

開催	発表テーマ	参加人数	参加企業等
10回	20テーマ	延べ450人以上	延べ350社以上



	日にち	発表者	発表テーマ	形式
第1回	6/6	経済産業省資源エネルギー庁 広島県	カーボンマネジメントの動向と取組 広島県CCE推進構想(第二版)とCR-サンドボックス(県補助金)のご紹介	オンライン
第2回	7/4	鹿島建設株式会社 大成建設株式会社	CO ₂ 吸収コンクリート『CO ₂ -SUICOM®』の開発と今後の展望 カーボンリサイクル・コンクリートの社会実装の進展と最新の動向	オンライン
第3回	7/30	中国経済産業局 三建産業株式会社	瀬戸内地域におけるGX実現に向けた水素・アンモニアの利活用と新産業の創出に関する調査について 三建産業のCN燃料への取り組み紹介	オンライン
第4回	9/5	広島ガス株式会社 広島大学 特命教授 齊間 等 氏	ガス業界における2050年に向けた取り組み及び中国地域におけるガスのカーボンニュートラル化シナリオ 二酸化炭素からのメタン合成	オンライン
第5回	10/3	アサヒ飲料株式会社 日本製紙株式会社	CO ₂ を食べる自販機、カーボンリサイクル取り組み 日本製紙のバイオリファイナリー構想のご紹介	オンライン
第6回	10/24	日本特殊陶業株式会社 ES技研株式会社	『地域CCU』の取組について 太陽光発電コストとグリーン水素のコスト低減について	ハイブリッド
第7回	11/21	カナデビア株式会社 広島大学大学院 教授 中島田 豊 氏	Ex-situ型バイオメタネーションに関する取組み概要 バイオテクノロジーによるカーボンリサイクル技術開発	オンライン
第8回	12/11	東北大学 助教 福島 潤 氏 株式会社アルガルバイオ	CO ₂ とシリコン系廃棄物を同時活用するSiC創製技術-循環型プロセスへの挑戦 微細藻類バイオフィアウナダリーを用いたCO ₂ 固定化技術実証	オンライン
第9回 (視察)	2/17	大崎クールジェン株式会社 カーボンリサイクル実証研究拠点(JCOAL) (東北大学、IMAT、ENEOSグローブ(株))	大崎クールジェンプロジェクトの概要説明 カーボンリサイクル実証研究拠点の概要説明 カーボンリサイクル実証研究拠点における概要説明、現地実証テーマ視察	現地
第10回	2/27	ナノミストテクノロジー株式会社 Planet Savers 株式会社	排熱を利用したアンモニアミストによる安価小型のCO ₂ 回収技術 日本初の大气中CO ₂ 直接回収技術(Direct Air Capture)スタートアップの挑戦	オンライン

①マッチング支援

マッチング交流会の対面開催では、立食形式の意見交換会やカーボンリサイクル関連施設への視察ツアーも実施。

第6回マッチング交流会(R7.10月)

日時:令和7年10月24日

場所:広島大学東千田キャンパス

(地域連携フロアSENDA LAB 多目的スペース)

参加者:約50人(会場、オンライン)

〈実施内容〉

- ・企業による発表(日本特殊陶業(株)、ES技研(株))
- ・意見交換会(立食形式)



第9回マッチング交流会(R8.2月)

日時:令和8年2月17日

場所:大崎クールジェン(株)

カーボンリサイクル実証研究拠点

参加者:17人

〈実施内容〉

- ・施設見学(東北大学、IMAT、ENEOSグローブ(株)の施設)
- ・意見交換会(立食形式)



CHANCEのイベントによるマッチング件数: **12件**
(事務局が把握している件数)

①マッチング支援（事例）

マッチング交流会等のイベントでの交流が、学校内への社会実装(CO₂を食べる自販機設置)へつながった。
現在、カーボンリサイクル品(CO₂吸収材活用製品)の社会実装に向けて協議中

「広島カーボンリサイクルサミット2025(R7.11月)」
でのマッチング

令和7年度 第5回マッチング交流会

2025.08.29

— 開催報告 —

講演 I 「CO₂を食べる自販機、カーボンリサイクル取り組み」



アサヒ飲料株式会社
未来創造本部 CSV戦略部
CO₂資源循環特任部長 菅沼 剛氏

アサヒグループでは、2030年までにScope1,2で排出量を70%削減（2019年比）、Scope3で排出量を30%削減（2019年比）、2040年までにScope1,2,3で排出量ネットゼロ（90%削減+炭素除去最大10%）と気候変動への対応に向けて高い目標を掲げ、PETボトルの水平リサイクルやラベルレス製品など、プラスチック資源の循環や削減に取り組んでいます。
今回のご発表では、生活者に身近なインフラでCO₂を回収循環させ、脱炭素啓蒙を図りながらCO₂を低減させるソリューションとして、副産物由来のCO₂吸収材を自動販売機に搭載し、吸収したCO₂をコンクリートや屋内材・壁タイル、舗装材料など土木建築材料に使用する取組についてご説明を頂きました。この自動販売機は通常の自動販売機と同条件で設置でき、電気代など追加ご負担はない機械となっています。広島県内には現在50台ほど設置されていますが、身近なカーボンニュートラルの取組として拡大が期待できます。

CHANCEのHPより



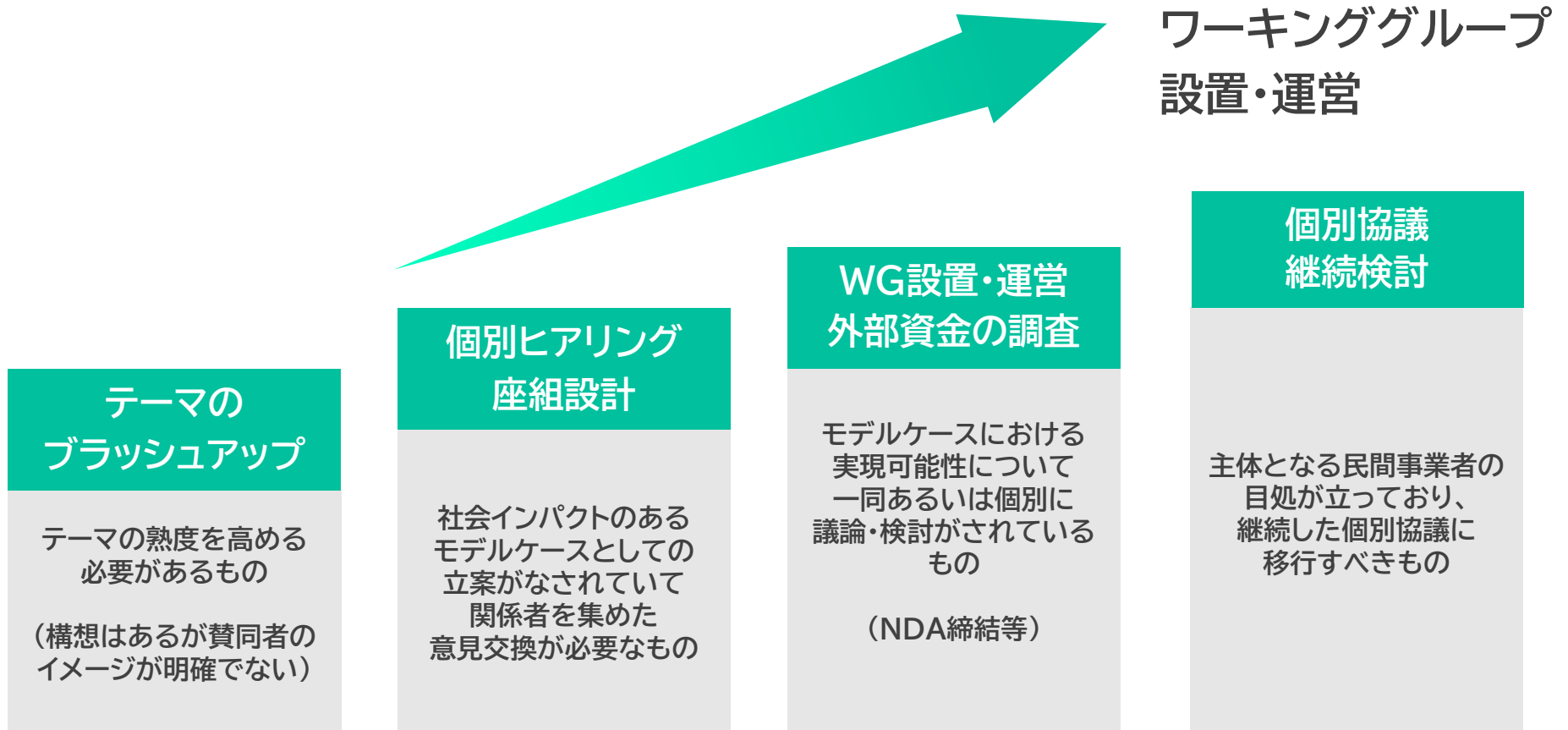
↓ 学校への設置



出典:近畿大学附属広島高等学校・中学校福山校
スクールブログ

②ワーキンググループの設置・運営

カーボンリサイクルに資する共同研究や実証プロジェクト等の立ち上げに向けた具体的なテーマについて議論を行い、事務局よりテーマの進捗状況や熟度に応じた支援を実施

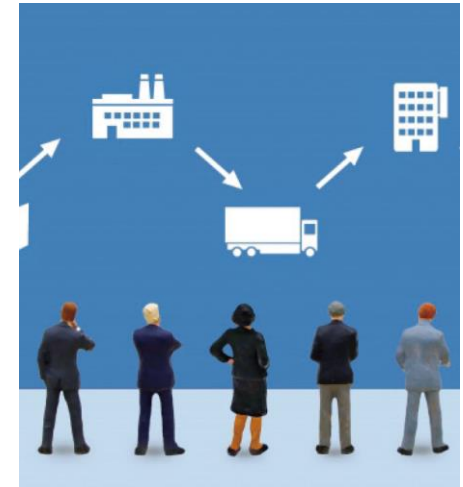
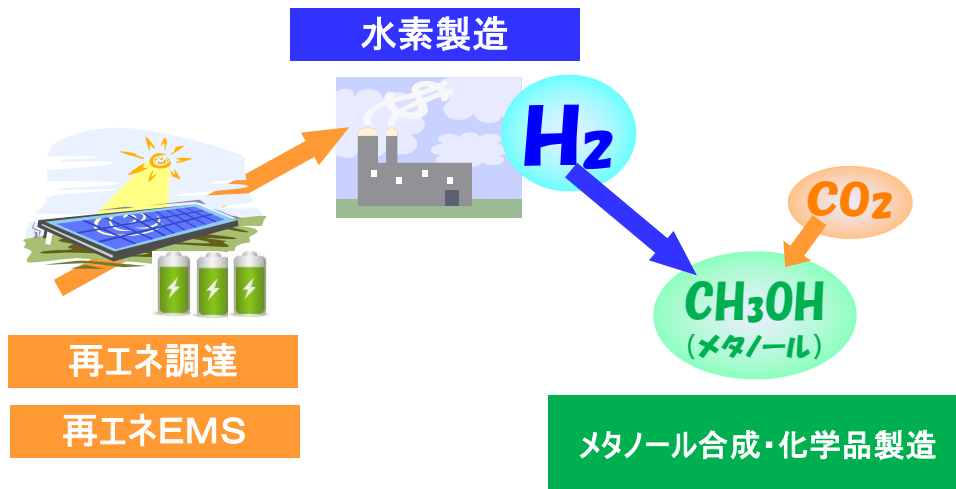


②ワーキンググループの設置・運営

令和7年度は、以下のテーマを中心に、実証プロジェクトの立ち上げに向けた伴走支援を実施。

✓ ワーキンググループのテーマ事例

テーマ名
ボイラーからのCO2回収と利活用
e-メタノールに向けた水素製造とCO2調達
CO2フリー水素の低コスト生産



環境・エネルギー分野における次世代を担う現役高校生等を対象とした、
カーボンリサイクルを楽しく学ぶ特別授業やイベントを実施

特別授業

出前講座でカーボンリサイクルの基本を学ぶ

- ◆ 将来的なカーボンリサイクル関連技術の研究・開発等を担う人材排出を見据え、カーボンリサイクルの認知や重要性への理解を広める。
- ◆ カーボンニュートラル及びカーボンリサイクルの基礎知識や、二酸化炭素と産業を結び付ける価値観を知り、環境・エネルギー分野の課題とその解決策について考察するきっかけをつくる。



イベント

実際の現場・人に触れてカーボンリサイクルを楽しく学ぶ

- ◆ カーボンリサイクル関連分野における企業や研究者の最新の取組等を紹介し、カーボンリサイクルに関する発展的な知識を得る機会を創出する。
- ◆ 職場見学や研究者との交流機会を設けることで、参加者の視野を広げ、将来的にカーボンリサイクル関連分野に携わることへの積極的な興味・関心を抱かせる。



③次世代教育

県内各地の11高校・高専で特別授業を実施し、延べ約1200人が参加した。



実施日	実施校	学年	授業内容	授業時間
R7.4.30	広島大学附属高等学校	1年生	講演	50分
R7.7.22	近畿大学附属広島高等学校 東広島校	1～3年生 (希望者)	ゲスト講演、グループワーク等	90分
R7.9.19	安古市高等学校	1～3年生 (希望者)	講演、グループワーク等	50分
R7.9.24	広島県瀬戸内高等学校	1～3年生 (希望者)	講演、ゲスト講演	60分
R7.9.25	安芸南高等学校	1年生	講演	50分
R7.10.9/16/23	近畿大学附属広島高等学校 福山校	主に2年生 (希望者)	講演、ゲスト講演、グループワーク等	50分×3回
R7.11.13	福山市立福山高等学校	2年生(理系クラス)	講演、グループワーク	50分×2回
R7.11.18	呉工業高等専門学校	専攻科1年生	ゲスト講演	90分
R8.1.15/22	大崎海星高等学校	1・2年生	ゲスト講演、グループワーク等	50分×2回
R8.1.21	廿日市高等学校	2年生	講演、ゲスト講演、グループワーク等	110分
R8.2.3	広島高等学校	1年生	講演、ゲスト講演	50分

③次世代教育

環境・エネルギーやカーボンリサイクルをテーマに計2回の次世代教育イベントを実施し、参加者やゲスト企業・研究者等と交流を図り、環境・エネルギー分野への理解度の向上・将来的なキャリア形成を促進

①夏期イベント

<テーマ> カーボンリサイクル× 自動車産業

- ・CR研究を行う研究者による特別講義
- ・マツダ社員・特別講師との交流会
- ・キュボラでのバイオコクス利用や微細藻類培養の実証設備に関連したマツダ構内の見学

実施日 R7.8.20 参加人数 20人



カーボンリサイクル
自動車産業
夏の特別授業
in MAZDA
参加無料
18名
募集

特別講師・聴取生学級
8/20 9:45-16:25

協力企業・特別講師
マツダ株式会社 伊藤 隆夫 氏
マツダ株式会社 伊藤 隆夫 氏

POINT1 講演者で学ぶ
POINT2 質疑に即応できる
POINT3 質疑を奨励する

主催 広島県環境・エネルギー産業課
TEL 082-513-3368 mail syokukyo@pref.hiroshima.jp

②冬期イベント

<テーマ> カーボンリサイクル× 研究体験

- ・実験の実演や簡単な研究体験を交えた、カーボンリサイクル実証研究拠点の見学(東北大学、IMAT)
- ・研究者と参加者との交流会
- ・拠点概要説明とカーボンリサイクルに係る解説

実施日 R8.2.11 参加人数 16人



大崎上島町 広島県内務部第一庁舎
カーボンリサイクル
実証研究拠点
特別見学会
2026.2.11 11:00-15:45

OSAKI KAMIJIMA

ーカーボンリサイクル×研究体験ー

カーボンリサイクル実証研究拠点とは？

01 特別講演者による「カーボンリサイクル」
02 日本産有機質肥料実証実験
2/8 申込受付開始

参加費無料・先着15名限定
見学・体験を通じた学び
研究者・参加者との交流

お申込み・詳細はこちら

④その他（各種イベントへの出展）

国や関係機関と連携し、広島県主催で「広島カーボンリサイクルサミット2025」を開催した他、カーボンリサイクル関係のイベントに積極的に出展・協力を行い、国内外の研究者・政府関係者等が集う場で、広島県の取組の発信を行った。

①第7回カーボンリサイクル産学官
国際会議2025

日時：令和7年10月10日
場所：ヒルトン大阪
主催：経済産業省、NEDO
参加者：約650人(会場、オンライン)

- 〈実施内容(広島県関係)〉
- ・ポスター発表会での県の取組紹介



②広島カーボンリサイクルサミット
2025

日時：令和7年11月27日
場所：広島産業会館
主催：広島県
参加者：250人(会場、オンライン)

- 〈実施内容〉
- ・講演(経産省、NEDO、広島県)
 - ・パネルディスカッション
 - ・ポスター発表会



③カーボンリサイクルシンポジウム
in 広島県大崎上島

日時：令和8年3月3日
場所：大崎上島文化ホール
主催：NEDO、JCOAL
(協力 広島県、大崎上島町)
参加者：169人(会場、オンライン)

- 〈実施内容(広島県関係)〉
- ・「広島県プレゼンツ」の実施
(地元住民集客・CR拠点の認知向上)



県独自のカーボンリサイクル補助金による支援

『広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想』(第二版、令和7年施行)に基づき、協議会や補助金、社会実装支援などの施策を推進中。

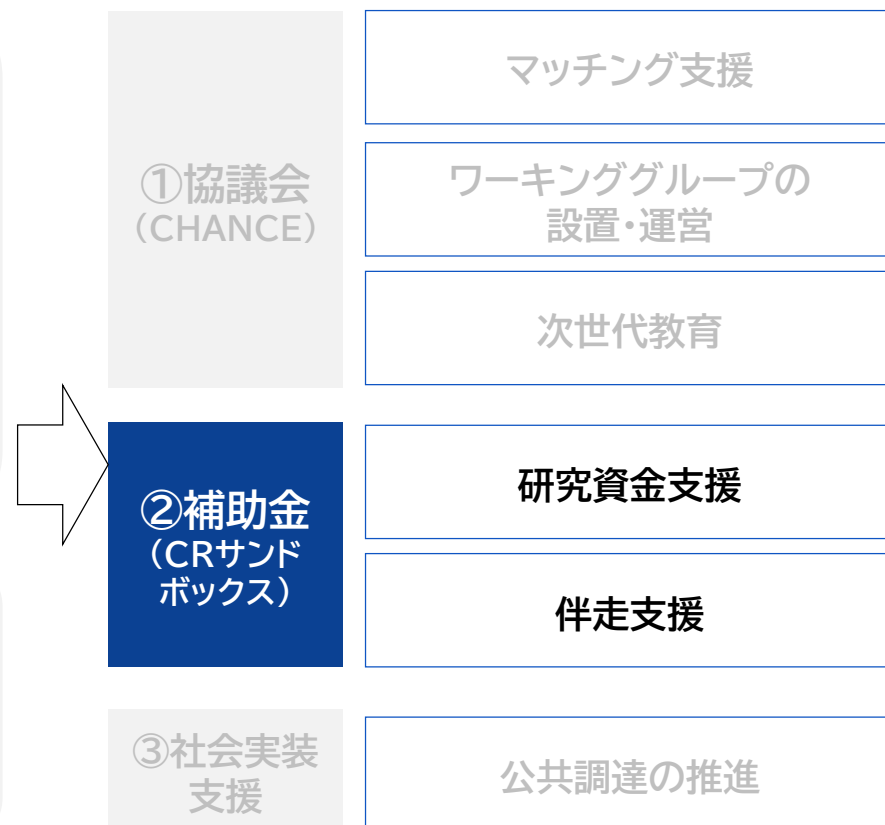
✓ 推進構想(第二版)に基づく方針と具体的取組内容

【方針1 カーボンリサイクルの拠点化】

1. 研究開発支援(CRサンドボックス)の充実
2. スタートアップ企業の創出・育成・誘致の強化
3. CHANCEを通じた企業間等のマッチングによる研究・事業化の促進
4. 大崎上島カーボンリサイクル拠点との連携
5. ビジネスへの需要拡大支援
6. 大規模な資金投入につながる環境整備
7. 県内研究事例や企業の取組の情報発信

【方針2 新産業の集積】

1. 各種マッチング機会の拡充
2. CR技術に必要なCO2フリー水素の調達に向けた対応
3. 若手研究者の育成と次世代教育



県独自のカーボンリサイクル補助金による支援

令和7年度は、推進構想(第二版)に基づき、支援内容をリニューアル。

区分1~3に加え、新たに「若手研究者育成支援枠」を設定し、計21件を採択・支援した。

区分	研究・実証支援枠			若手研究者育成支援枠
	区分1: 基礎研究 支援型	区分2: SU等県内 実証支援型	区分3: サプライチェーン 構築支援型	
応募件数	20件	12件	3件	14件
採択件数	8件	6件	2件	5件

総額約 **1.1** 億円の支援！

※ 採択案件全体の補助額

県独自のカーボンリサイクル補助金による支援実績

令和7年度は、基礎研究支援型、スタートアップ等県内実証支援型、サプライチェーン構築支援型では計16テーマを採択。

区分	採択者	研究内容
基礎研究支援型	株式会社ECEテクノ	メカノケミカル反応による炭酸塩の実用的メタン化法の開発
	高知大学 教授 芦内 誠	黒液と二酸化炭素から創る未来材料(ビジョナリープラスチック)とその応用
	神戸学院大学 教授 稲垣 冬彦	溶媒スイング法による広島県内工業排ガス中CO2の高効率的回収法の開発
	鳥取大学 准教授 辻 悦司	電解還元による二酸化炭素の資源化を加速する単原子電極触媒の創製
	広島大学 特任教授 石谷 治	CCUに適した低濃度CO2還元光触媒の開発
	広島大学 教授 中井 智司	自動車工場の廃液を用いた藻類バイオ燃料生産の社会実装を加速させるための研究
	北海道大学 准教授 武安 光太郎	混成電位駆動型反応場によるCO2の低温選択変換
	山形大学 教授 落合 文吾	折り紙工学による機械的メタマテリアルの創成に向けた二酸化炭素由来の構造を鍵とする強靱ポリマーの開発
スタートアップ等 県内実証支援型	Agri Blue (株)	植物の光覚知機能を応用した食糧増産及び糖質高速代謝転換技術の実証研究
	ト部産業(株)	カキ殻CO2固定量算出モデル開発と環境配慮型資材の創出
	(株)Altes	バイオマスエネルギー作物『ヤマトダマ』の持続可能な栽培モデルの確立
	合同会社ゲルバイオ	地産地消型バイオ炭供給体制の確立とグリーンコンクリートの活用によるゼロカーボン推進事業
	(株)シアノロジー	広島由来ラン藻HIR1株によるCO2固定型発酵と酢酸生産
ナノミストテクノロジーズ(株)	鑄造工場から排出される CO2の排熱を利用した回収技術の現場実証	
サプライチェーン 構築支援型	ツネイシカムテックス(株)	地域連携による微細藻類サプライチェーン構築に向けた屋外培養実証と育種基盤開発
	(株)タケエイ	未利用バイオマスを原料とした自動車業界キュポラ向け高品位粉炭製造プロセス開発

県独自のカーボンリサイクル補助金による支援実績

さらに、令和7年度に新設した「若手研究者育成支援枠」では、5テーマを採択。

区分	採択者	研究内容
若手研究者 育成支援枠	神戸学院大学 博士課程 高橋 暉	Z型配位子金属触媒を用いたCO ₂ 変換による高効率ウレア合成法の開発
	東京大学 特任助教 林 泰毅	CO ₂ 回収技術への応用を指向した結晶性シロキサン構造体の次元制御手法の開発
	東北大学 助教 八木原 昂輝	カーボンリサイクルに資するCO ₂ 回収技術の開発のための技術評価手法の開発
	広島大学 特任助教 鴨川 径	高い耐久性で低濃度の二酸化炭素を効率的に還元するMn(I)触媒を用いた光触媒システムの創生
	株式会社P&A 代表取締役社長 中畑 敏哉	光合成細菌エキスと機能性ゲルの融合による藻場再生資材の開発

CONTENTS

01

令和7年度活動実績

02

令和8年度活動計画

令和8年度も、推進構想(第二版)に基づき、これまでの取組をベースとしつつ、新たな分野の取組を推進する。

✓ 推進構想(第二版)に基づく方針と具体的取組内容

【方針1 カーボンリサイクルの拠点化】

1. 研究開発支援(CRサンドボックス)の充実
2. スタートアップ企業の創出・育成・誘致の強化
3. CHANCEを通じた企業間等のマッチングによる研究・事業化の促進
4. 大崎上島カーボンリサイクル拠点との連携
5. ビジネスへの需要拡大支援
6. 大規模な資金投入につながる環境整備
7. 県内研究事例や企業の取組の情報発信

【方針2 新産業の集積】

1. 各種マッチング機会の拡充
2. CR技術に必要なCO2フリー水素の調達に向けた対応
3. 若手研究者の育成と次世代教育

①協議会
(CHANCE)

マッチング支援

ワーキンググループの
設置・運営

次世代教育

②補助金
(CRサンド
ボックス)

研究資金支援

伴走支援

③社会実装
支援

公共調達の推進

支援メニュー



区分	若手研究者支援プログラム		研究開発支援		
	次世代枠 <small>New</small>	一般枠	基礎研究支援型	スタートアップ等 県内実証支援型	サプライチェーン 構築支援型
概要	次世代のCR研究を支援	若手研究者のCR研究を支援	CR製品開発に向けた基礎研究を支援	県内の事業者と連携し、実証する事業を支援	CR製品のサプライチェーンを構築し、事業化を目指す事業を支援
対象者	県内高校生・高専生	40歳未満の若手研究者	大学、 中小企業の研究者	企業	企業
支援内容	活動費5万円/件 + 伴走支援	活動費50万円/件 + 伴走支援	最大400万円/2年 + 伴走支援	最大600万円/1年半 + 伴走支援	最大2,100万円/1年半 + 伴走支援
補助率	採択決定後、活動費支給		10/10	中小:10/10 中堅:2/3 大企業:1/10	中小:2/3 中堅:3/5 大企業:1/2
開発フェーズ	← 基礎・応用研究			← 実証研究、フィールド実証	
	← 量産化・水平展開				

目論見

CR研究を始める契機となる

CR研究の母数を増やす

全国からCR技術を集積し、CR技術シーズを育てる

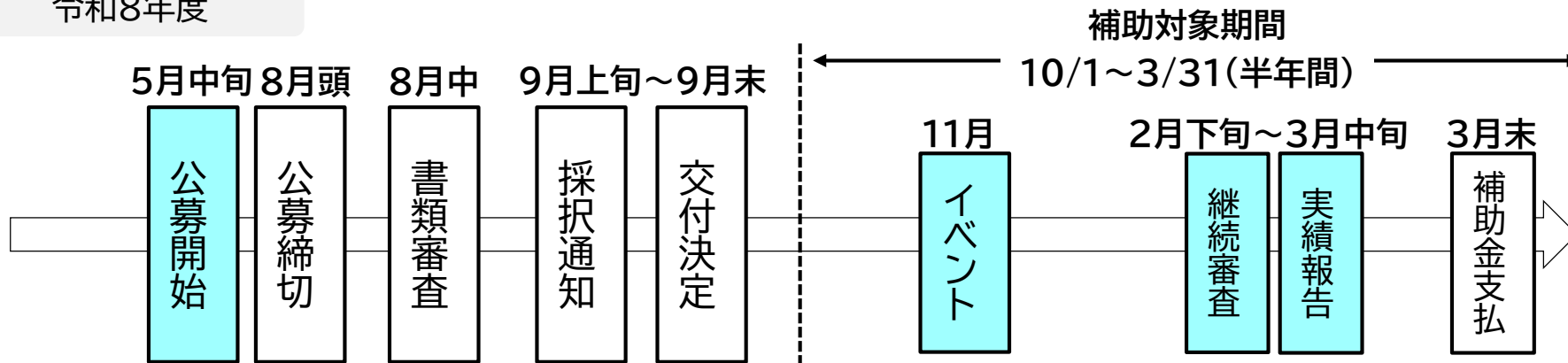
企業と協業し、事業化を目指す製品を開発

サプライチェーンを構築し、社会実装を目指す

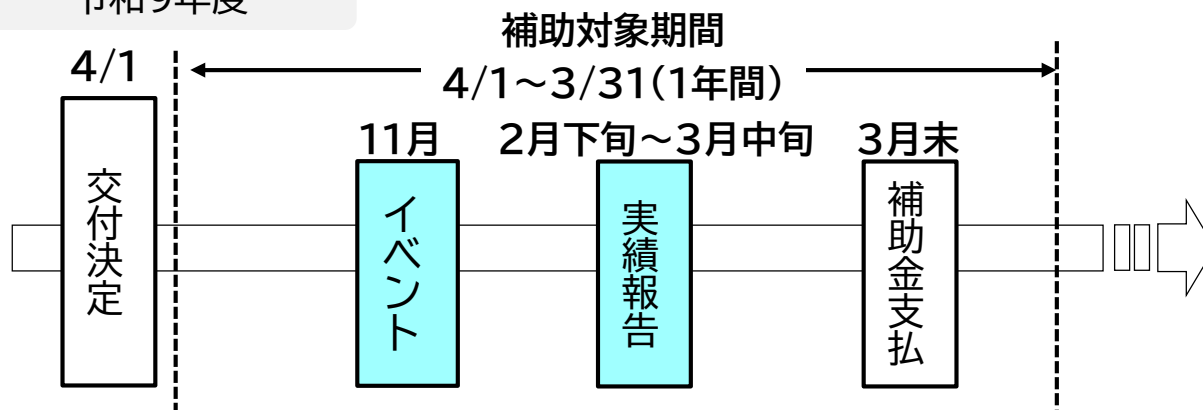
令和8年度の主な取組予定（カーボンリサイクル補助金）

スケジュール

令和8年度



令和9年度



ポイント

- ✓5月中旬公募、書類審査、10/1事業開始
- ✓11月にイベント出席(広島開催)
- ✓年度末に継続審査
- ✓年度末に実績報告に基づく精算払い

カーボンリサイクル補助金～県内企業との多くの連携実績～

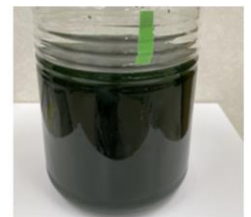
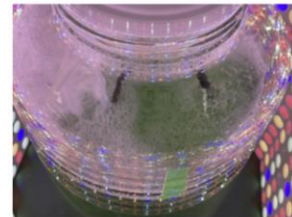
炭カル製造企業 (補助対象者) × **コンクリート二次製品メーカー** DAC法によるCO2を固定した魚礁ブロックの開発

大気中のCO₂で瀬戸内海を豊かに大気中のCO₂を由来とするカーボンリサイクル型の炭酸カルシウムを原料に、藻が着生しやすい魚礁ブロックを製造



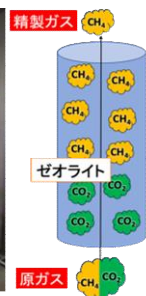
スタートアップ企業 (補助対象者) × **精錬メーカー** 排ガスを利用した微細藻類の培養

世界でも珍しい実験に成功 貴金属吸着特性を有する微細藻類を活用して、精錬メーカーから排出されるCO₂を削減しつつ、排水中の貴金属回収を同時に行うラボレベルでの実験に成功。



県外大学 (補助対象者) × **装置メーカー** メタン発酵システムによるバイオガスからのCO₂分離回収技術の開発

捨てられる農作物からエネルギーを生産 農作物の残さからバイオガスを生産し、同時にバイオガスからのCO₂を吸着・回収する実証研究を実施。 今後は、メタンは燃料や発電に、CO₂は農業ハウス栽培に利用するスキームの構築を目指す



DACスタートアップ企業 (補助対象者) × **漁業者** CO2を利用した海ぶどう養殖法の開発

空気中のCO₂を、おいしい海ぶどうに変える循環モデル 大気中のCO₂をDAC技術により、回収し、海ぶどうに施用して、光合成を促進する養殖技術を開発 収穫量増と、燃料費の削減を両立する海藻養殖の実証を開始



【提供】竹原市

令和8年度の主な取組予定（大崎上島カーボンリサイクル拠点との連携）

NEDOが大崎上島町に整備したカーボンリサイクル研究拠点の魅力づくりおよび認知向上を図るため、大崎上島町や島内のカーボンリサイクル研究拠点と連携し、島内の研究者と県内外の企業・研究者・学生との交流機会を創出するとともに、拠点の認知度・付加価値向上を目指す。

R8年度の取組予定

- カーボンリサイクル研究拠点と連携したイベントの実施

「環境の日」広島大会の共同出展(6月)

家族連れ向けのイベントである「環境の日」ひろしま大会へ共同出展し、県・CR拠点の取組を共同で発信予定



CR拠点成果発表会の連携

CR拠点と県補助金の研究成果を発表するイベントを共同で開催予定



CR拠点の視察イベント(随時)

企業・研究者・学生向けの視察イベントを拠点関係者と連携した実施予定



カーボンリサイクル技術を活用した製品・サービスの購入・調達は、従来の化石燃料由来製品等と比較してコストアップとなる可能性が高いため、特に社会実装が比較的早期に進むと想定される製造に水素を必要としないカーボンリサイクル製品について、モデル的に公共調達を含めた具体の出口を企業へ提供しつつ、県民のカーボンリサイクル製品への認知・導入の意義等の理解を促進する取組を実施する。

R8年度の取組予定

- カーボンリサイクル製品の公共調達等を利用した普及促進（モデル導入）を検討・実施

CRコンクリート施工実績と活用イメージ



島根県内の歩道境界ブロック
（鹿島建設株式会社のHPより引用）



コンクリート二次製品
（鹿島建設株式会社のHPより引用）



コンクリートベンチ
（大成建設株式会社のHPより引用）



ひろしまゲートパーク

広島県商工労働局 環境・エネルギー産業課
カーボンリサイクル推進グループ

〒730-8511 広島市中区基町10番52号
電話:082-513-3368
メール:syokankyo@pref.hiroshima.lg.jp

本資料は、本県が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。

本資料の著作権は本県に属し、本資料の一部または全部を、①複写、写真複写、あるいはその他の如何なる手段において複製すること、②本県の書面による許可なくして再配布することを禁じます。